

授 業 概 要

(社会福祉科)

科目名 社会学		授業の種類 講義		授業担当者 立花 匡真	
授業回数 30回		時間数（単位数） 60時間（2単位）		配当学年・時期 2年・前期	
				必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい] 1 社会学の理論の概要を把握する 2 国家試験に合格するための基礎学力を身に付ける					
[授業全体の内容の概要] 担当科目の内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、基礎的な内容を把握できるよう確認試験を解答させる					
[授業終了時の達成課題（到達目標）] 1 過去問題が解けるようになる 2 確認試験で知識を確実に身に付ける 3 社会学の観点から映画を鑑賞する					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
コマ数	テーマ		コマ数	テーマ	
1	1. 現代社会の理解Ⅰ（1）社会システム		16	1. 現代社会の理解Ⅶ（8）社会集団及び組織（さらに続き）	
2	1. 現代社会の理解Ⅰ（1）社会システム（続き）		17	2. 生活の理解Ⅰ（1）家族その1	
3	1. 現代社会の理解Ⅰ（1）社会システム（さらに続き）		18	2. 生活の理解Ⅰ（1）家族その2	
4	1. 現代社会の理解Ⅱ（2）法と社会システム		19	1. 現代社会の理解Ⅵ（7）地域その3	
5	1. 現代社会の理解Ⅲ（3）経済と社会システム		20	2. 生活の理解Ⅱ（2）生活の捉え方その1	
6	1. 現代社会の理解Ⅳ（4）社会変動		21	2. 生活の理解Ⅱ（3）生活の捉え方その2	
7	1. 現代社会の理解Ⅰ（2）文化		22	3. 人と社会の関係（1）社会関係と社会的孤立	
8	1. 現代社会の理解Ⅳ（5）近代化、産業化、情報化		23	3. 人と社会の関係（2）社会的行為	
9	4. 社会問題の理解Ⅱ 具体的な社会問題自殺		24	3. 人と社会の関係（3）社会的役割	
10	1. 現代社会の理解Ⅴ（6）人口その1		25	3. 人と社会の関係（4）社会的ジレンマ	
11	1. 現代社会の理解Ⅴ（6）人口その2		26	4. 社会問題の理解（1）社会問題の捉え方その1	
12	1. 現代社会の理解Ⅵ（7）地域その1		27	4. 社会問題の理解（1）社会問題の捉え方その2	
13	1. 現代社会の理解Ⅵ（7）地域その2		28	社会学的視点からの映画鑑賞授業その1	
14	1. 現代社会の理解Ⅶ（8）社会集団及び組織		29	社会学的視点からの映画鑑賞授業その2	
15	1. 現代社会の理解Ⅶ（8）社会集団及び組織（続き）		30	プレテスト	
[使用テキスト・参考文献] 弘文堂 社会福祉士シリーズ 社会理論と社会システム [第3版]			[単位認定の方法及び基準] ・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要		

授 業 概 要

(社会福祉科)

授業のタイトル（科目名） 就労支援サービス		授業の種類 （ <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実技）		授業担当者 名 地 宙（実務経験者）	
授業の回数 15 回	時間数（単位数） 30 時間（1 単位）	配当学年・時期 2 年 後期		<u>必修</u> ・選択	
[授業の目的・ねらい] ・働くことの意味から就労支援の目的を理解できる ・就業率や就業構造の変化などを視点に、労働環境の現状を理解できる ・労働基準法をはじめとする労働関連法規について理解できる ・生活保護受給者だけでなく、生活困窮者を対象とした支援の現状について理解できる ・障害のある方を対象とした就労支援の現状について理解できる [授業終了時の達成課題（到達目標）] ・労働の意味およびキャリア発達について説明できる ・現代の労働を取り巻く状況が説明できる ・労働基準法や関連労働法規について説明できる ・生活保護受給者、生活困窮者を対象とした就労支援制度について説明できる ・障害者の方を対象とした就労支援制度について説明できる					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1 働くこととは・キャリア発達と就労支援 2 キャリア発達と就労支援・労働市場の動向について 3 労働法規の基礎と労働三法について 4 その他の労働法規について 5 生活保護制度における就労支援制度について① 6 生活保護制度における就労支援制度について② 7 生活保護制度における就労支援制度に関するDVDの視聴 （ドラマ『健康で文化的な最低限度の生活』視聴） 8 母子世帯等を対象とした施策 9 障害者雇用施策の概要について 10 就労支援サービスの実施体制について① 11 就労支援サービスの実施体制について② 12 就労支援に係る専門職の役割と実際 13 就労支援まとめプリントを使用しての復習① 14 就労支援まとめプリントを使用しての復習② 15 まとめ					
[使用テキスト・参考文献] 『就労支援サービス』（弘文堂）			[単位認定の方法及び基準] ・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要		

授 業 概 要

(社会福祉科)

授業のタイトル（科目名） 福祉サービスの組織と経営		授業の種類 （ <u>講義</u> ）・ 演習 ・ 実技）		授業担当者 名 地 宙（実務経験者）	
授業の回数 30 回	時間数（単位数） 6 0 時間（2 単位）	配当学年・時期 2 年 後期		<u>必修</u> ・選択	
[授業の目的・ねらい] ・福祉サービスにかかわる組織や団体の概要と役割を把握する ・集団の力学やリーダーシップを中心とした福祉サービスの組織と経営の基礎理論を理解する ・福祉サービスの運営管理の方法をサービス管理・人事労務管理と育成・財務管理・情報管理から総合的に理解する。 [授業終了時の達成課題（到達目標）] ・社会福祉法人やNPO法人等経営の現状と課題を説明できる（法律含む） ・集団やリーダーシップのあり方を述べるができる ・リスクマネジメントや人事育成・労務管理と経営との関連性を説明できる					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1 福祉サービスと法人について 2 法人の理解 3 コンプライアンス・ガバナンス・社会福祉法人について 4・5・6・7 社会福祉法人について 8・9 特定非営利活動法人について 10・11・12 その他の組織について 13・14 福祉サービスの組織と経営基礎理論 15 経営戦略論の系譜について 16 組織について 17 管理運営の基礎理論、個人・集団・組織 18 集団の力学に関する基礎理論 19・20 集団の負の側面、リーダーシップに関する基礎理論 21 サービスマネジメントについて 22 4つのPと3つのP 23 福祉サービス第三者評価事業について 24・25 苦情対応とリスクマネジメント 26・27・28 人事労務管理について 29 労働法規について 30 財務管理・会計管理について					
[使用テキスト・参考文献] 福祉サービスの組織と経営（中央法規）			[単位認定の方法及び基準] ・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要		

授 業 概 要

(社会福祉科)

授業のタイトル（科目名） 福祉事務		授業の種類 （ 講義・ 演習 ・ 実技 ）		授業担当者 前原 良彦	
授業の回数 30 回	時間数（単位数） 60 時間（2 単位）	配当学年・時期 2 年・後期		必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい] 福祉事務管理技能検定 2 級・3 級に合格できるレセプト作成能力をつける。 国家試験前哨戦として、試験勉強のレベルを目指す。福祉業界で働くために基礎となる介護保険制度・算定構造とレセプト・介護給付費明細書を、居宅サービス(3 級合格)・施設サービス(2 級合格)どちらも作成できること。 [授業終了時の達成課題（到達目標）] 福祉事務管理技能検定 2 級・3 級に合格できるレセプト作成能力をつける。 国家試験前哨戦として、試験勉強のレベルを目指す。介護保険制度、介護報酬請求事務において、在宅者用居宅サービス計画書を作成できること。 (3 級合格) 施設利用者用施設サービス計画書を作成できること。(2 級合格)					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
第 1 回 介護保険の基礎 在宅レセプトについて過去問 2 2 回 3 級 第 2 回 レセプトの基礎 施設レセプトについて過去問 2 2 回 2 級 第 2 回 過去問 2 2 回 2 級 第 3 回 過去問 2 3 回 3 級 第 4 回 過去問 2 3 回 2 級 第 5 回 過去問 2 4 回 3 級 第 6 回 過去問 2 4 回 2 級 第 7 回 過去問 2 5 回 3 級 第 8 回 過去問 2 5 回 2 級 第 9 回 過去問 2 6 回 3 級 第 1 0 回 過去問 2 6 回 2 級 第 1 1 回 過去問 2 7 回 3 級 第 1 2 回 過去問 2 7 回 2 級 第 1 3 回 過去問 2 8 回 3 級 第 1 4 回 過去問 2 8 回 2 級 第 1 5 回 過去問 2 9 回 3 級		第 1 6 回 過去問 2 9 回 2 級 第 1 7 回 過去問 3 0 回 3 級 第 1 8 回 過去問 3 0 回 2 級 第 1 9 回 過去問 3 1 回 3 級 第 2 0 回 過去問 3 1 回 2 級 第 2 1 回 過去問 3 2 回 3 級 第 2 2 回 過去問 3 2 回 2 級 第 2 3 回 過去問 3 3 回 3 級 第 2 4 回 過去問 3 3 回 2 級 第 2 5 回 過去問 3 4 回 3 級 第 2 6 回 過去問 3 4 回 2 級 第 2 7 回 過去問 3 5 回 3 級 第 2 8 回 過去問 3 5 回 2 級 第 2 9 回 過去問 3 6 回 3 級 第 3 0 回 過去問 3 6 回 2 級			
[使用テキスト・参考文献] 介護保険サービスコード表 2019 介護保険早見表 2019		[単位認定の方法及び基準] ・単位取得には 8 割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の 6 割以上の修得が必要			

授 業 概 要

(社会福祉科)

授業のタイトル（科目名） 保健医療サービス論		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 立花匡真	
授業の回数 15 回		時間数（単位数） 30 時間（1 単位）		配当学年・時期 2 年・後期	
				必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい] ・ 相談援助活動において必要な医療保険制度や保健医療サービスについて理解する。 ・ 保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解する。 ・ 国家試験の問題に慣れる。 [授業終了時の達成課題（到達目標）] ・ 保健医療サービスの過去問を 7 問中 6 問以上正解することができる。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 1. 医療保険制度 2. 高額療養費制度 3. 診療報酬制度 4. 国民医療費① 5. 国民医療費② 6. 医療提供施設 7. 医療ソーシャルワーカー 8. 保健医療サービスにおける専門職 9. 1.2 過去問と模擬問題 10. 3.4 過去問と模擬問題 11. 5.6 過去問と模擬問題 12. 7.8 過去問と模擬問題 13. 1～8 過去問と模擬問題 14. プレテストⅠ 15. プレテストⅡ					
[使用テキスト・参考文献] 保健医療サービス 弘文堂			[単位認定の方法及び基準] ・ 単位取得には 8 割以上の出席が必要 ・ 筆記試験を課し、到達目標の 6 割以上の修得が必要		